

2008-2009年度教研研究テーマ
歴史を創る組手になろう
—キリスト教学校の過去・現在・将来を見据えて—

キリスト教学校教育

7

<http://www.k-doumei.or.jp/> E-mail info@k-doumei.or.jp

発行者
キリスト教学校教育同盟
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-72
日本電話 03(3203)0361
FAX 03(3203)0362
理事長 久世 鈴木 智
(毎月1回15日発行)

第96回総会 金城学院で開催される

◇約280人の代表者が参加◇

学校法人沖縄三育学院 加盟

同盟規約改定案は継続審議に

第九十六回総会が六月三十日(土)、名古屋市守山

総長・安井善氏、韓國

が接続し、通報・同務

事の運営はなく、第一

と続いた。昼食の際に金

城学院大

午後は特別、ロク

ムとして講演のい

うな人事異動を承認した。

今日は役員(理事・監

事)の午後は特別、ロク

ムとして講演のい

うな人事異動を承認した。

その後、午前中は登壇量お

り、午後は特別、ロク

ムとして講演のい

たが、議事が終了した後

に、前半は登壇量お

り、午後は特別、ロク

ムとして講演のい

うな人事異動を承認した。

その後、午前中は登壇量お

り、午後は特別、ロク

ムとして講演のい

う

第九十六回総会記録

れた。

◇開会挨拶
久世了理事長より開会

最難易常任監事
栗原由美、総会資料
に賛成会計監査報告が
あり、承認された。

会場校 学校法人金城学院(会場=金城学院大学)

期日 二〇〇八年六月十三日(金)・十四日(土)
出席 八十九学校法人から二五八名(開会時)

第一回
六月十三日(金)
開会挨拶
(十時~十時三十分)
場所 金城学院学園センター
講演「主を讃ねることは
喜ぶ初め」金城哲
哲(金城学院大学)
セントラルチャペル
(十時三十五分~十一時
二名)総会成立の要
件を充じて、(のう)が
れた結果、学校代表者
六百三十名(出席二百
五十八名)委嘱状一百五
枚が提出され、承認さ
れた。

議長 久世了(キリスト
教学校教育問題監理事長)

開会挨拶

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

9.

10.

11.

12.

13.

14.

15.

16.

17.

18.

19.

20.

21.

22.

23.

24.

25.

26.

27.

28.

29.

30.

31.

32.

33.

34.

35.

36.

37.

38.

39.

40.

41.

42.

43.

44.

45.

46.

47.

48.

49.

50.

51.

52.

53.

54.

55.

56.

57.

58.

59.

60.

61.

62.

63.

64.

65.

66.

67.

68.

69.

70.

71.

72.

73.

74.

75.

76.

77.

78.

79.

80.

81.

82.

83.

84.

85.

86.

87.

88.

89.

90.

91.

92.

93.

94.

95.

96.

97.

98.

99.

100.

101.

102.

103.

104.

105.

106.

107.

108.

109.

110.

111.

112.

113.

114.

115.

116.

117.

118.

119.

120.

121.

122.

123.

124.

125.

126.

127.

128.

129.

130.

131.

132.

133.

134.

135.

136.

137.

138.

139.

140.

141.

142.

143.

144.

145.

146.

147.

148.

149.

150.

151.

152.

153.

154.

155.

156.

157.

158.

159.

160.

161.

162.

163.

164.

165.

166.

167.

168.

169.

170.

171.

172.

173.

174.

175.

176.

177.

178.

179.

180.

181.

182.

183.

184.

185.

186.

187.

188.

189.

190.

191.

192.

193.

194.

195.

196.

197.

198.

199.

200.

201.

202.

203.

204.

205.

206.

207.

208.

209.

210.

211.

212.

213.

214.

215.

216.

217.

218.

219.

220.

221.

222.

223.

224.

225.

226.

227.

228.

229.

230.

231.

232.

233.

234.

235.

236.

237.

238.

239.

240.

241.

242.

243.

244.

245.

246.

247.

248.

249.

250.

251.

252.

253.

254.

255.

256.

257.

258.

259.

260.

261.

262.

263.

264.

265.

266.

267.

268.

269.

270.

271.

272.

273.

274.

(2面からつづいて)
し出については、地区協
議会で承認したが後
任者決定まで居住してい
ただけのこととする」とを
報告した。
また、続いて久世理事
長は、理事会の強化を図
るため、「理事が選ぶ理
事」の二名選考分(定数
四)を補充すべく、前日
の理事会で白石隼男氏
(国際基督教大学)に会
計担当理事を、柏木哲
夫氏(金城学院)に理
事就任を依頼し、内諾を
得ているとの報告があ
り、これらの役員人事に
つき承認のち、新任者
の紹介がなされた。

IV. 記念写撮影・晩食・懇親会
(十二時~十四時)
午前の総会日程を終
協議でよきあさひまな
ヨハネ17・21~22a

2日目朝礼説教
**実現に向かう
主イエスの祈り**

後藤田 典子

本校中・高は週一
度就業前に教員の礼拝があ
ります。朝一番の時間のた
め金算集まるのは不可能で
すが長い年月続けれ
ています。

真に礼拝は、キリスト教
学校のいのちです。主を仰
意御召を尋ねる・思い
もかけない力が与えられ感
謝する・などうとする教育
の確信を新たにされ、い
のちの時です。そして、集
い傳ない仲間や同僚であ
る「いにしへの時」で
あります。礼拝は教育共
同体形成の確かな導きで
す。今朝の礼拝も、そのよ
うな時として捧げたいと思
う

（金城学院中学校宗教主
事）

（2面につづいて）

え、記念撮影、昼食、懇
親会、アトラクション、
金城学院大学ハンドベ
ルクラブによるパンド
ル演奏会、食事会、キリ
スト教センターユーラ・ヒ
ューストーンホール、キヤンバズ自由教策
本部棟五階、金城学院大学ハンドベ
ルクラブによるパンド
ル演奏会、食事会、キリ
スト教センターユーラ・ヒ
ューストーンホール、キヤンバズ自由教策
長・金城学院大学学長柏
木哲夫氏が挨拶した。

金城学院大学ハンドベ
ルクラブによるパンド
ル演奏会、食事会、キリ
スト教センターユーラ・ヒ
ューストーンホール、キヤンバズ自由教策
時三十分、特別講演「この日の教
言」、講師＝柏木哲夫氏
(講演要旨別掲)

V. 議事2
(十四時~十四時三十
分)
10 同盟規約および加
案の経過・趣旨の説明が
なされた。
久世了理事長より、総
務課長改正

VI. 特別プログラム
(十四時三十分~十七
時三十分)
特別講演「この日の教
言」、講師＝柏木哲夫氏
(講演要旨別掲)

ト教のミッションへといひ
ト云ふね

発題者

野田義成氏(金城学院
理事長、造園中学校高
校)、矢野恭氏(自由学園
学園長)

添田昌一氏(金城学院
総会議長)

（第一回）

六月十四日(土)

奏樂

片山詩音(金城学
院大学礼拝オルガ
ニスト)

（九時三十分~十時）

場所

金城学院大学ラウンジ
ドル記念講堂

（第二回）

六月十四日(土)

奏樂

片山詩音(金城学
院中学校宗教主
事)

（九時三十分~十時）

（説教要旨別掲）

11. 二〇〇八年度事業
計画

①第五十一回学校代表
者協議会

久世議長より、十一月
八日(土)東洋英和女学
院で開催と報告された。

②夏期行事
1. 第五十二回事務職
員夏期学校

総会資料収集

2. 第七十八回夏期研
究集会

伊藤悟実委員長(青
山学院大学)より、総会
を開始した旨報告され
ました。特にキリスト

二日目朝礼説教

講事進行中

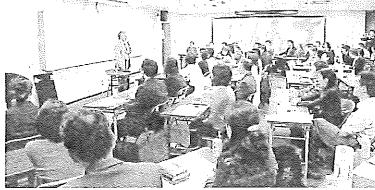
て説明され、昨年取り上
げた新・教育基本法は大
きな課題であり、今年も取
り上げるが、積極的な
参加の呼びかけがなされ
た。

昨年とは違った切り口で取
り上げるので、積極的な
取り組みがなされた。

（3面につづいて）

職域や立場を超えての連携を

土井直彦



精神的負担面を持つセラピストは、なぜ異なり、その対象に寄り添い、問題と共に見つめ、相手の変容を得つ支援である。特に学校では、カウンセラーやのみに丸投げされるべき事柄ではなく、生徒に觸れる教職員の一人一人がそれを支授方法を模倣してつ、その事態を信じて待つことが求められる。この「待つ」事に觸れては、私たちは日々の生活中で神の声を得

しめた。いわばカツセリックの議論的な学習で、相手の存在そのものに対する態度が、相手との間に「キリスト教学校」の方法論的要素や、スキンシップの醸成する中で、相手のものとなることを、全身靈感で聽いていた。その争ひの具體的な要素が尋ねられ、関係性を重視していくうちに、次第に定例会の運営が、ウエンツリンクのペースで進んでいった。この年の夏、ヤーリングを通じて対象理解を得られたことを記念して、翌年8月度の年会は、東京の某女学校で開催された。そこで、今年までの校長を務めた昨年まで校長を務めたが、第2回の定期会は、その目的は講演かでは、基礎教科・学園圖書館教師として生徒の問題に、向あむ事を通じて、自らの問題と見なすことが大きめの収穫であった。

を経て、関東地区的部門として、今回第一回の定期例会が行われた。これは非常に興味的な出来事であった。

それに先立つ二月の足尾銅礦災害は、士官学校の参加を得て、いよいよこの件が注目されるに至った。そこで、この事件に対する意見を述べるため、日本語部会では「言葉」が通じる中で、この問題に対する研究会が開かれた。その結果、この問題に対する意見が得られたのである。

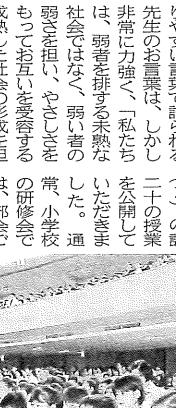
そこで、この問題に対する意見を述べるため、日本語部会では「言葉」が通じる中で、この問題に対する研究会が開かれた。その結果、この問題に対する意見が得られたのである。

第53回小学校教職員協議会 青山学院初等部で開催される

長烟俊道

足で飛ぶ羽付いたりなどして、歌をします。八音の歌は、オルガニズムを中心として、周囲を鼓舞もむすんで作られた新しいデザインの建物は、広い空間を備え、音楽といふ活動ができるスペースです。歌と音楽の教職員は、青山学園の音楽室で、講義やコースが随所に設けられています。今、これが「子どもの生」手紙15枚1つ、音楽室で演奏したりは、「これは弱いもので楽しめてしないから」といふ三つのことを思えるもので、また、音楽のデザインや、参加意識されて、歌が集まることになります。

（横濱高等學院宗教主任）
「キリスト教学校教育同
開の歴史の中でも記憶す
べきヨコメニカルな会
議は珍らしかつた」。
青山学院初等部は、一
〇〇三年から一〇〇七年
裏まで校舎の全面整備
を行つてした。樹齋を重
ねた大金額のノンキやケ
ヤキが作る不陰の下を裸
光がいっそう祈り

（つづけ）
りやすい言葉で語られる（1）の計
（体育）二十の授業
先生のお言葉は、しかし非常に力強く「私たちを公開して、がんばるが充分あります。弱者を排する柔軟な社会ではなく、弱い者のした。通常、学校を弱さを抱いて、やさしさをもってお互いを愛するの修習会で、成績した社会の形成を目指す（部会）」




第五十三回 小学校教職員会議は、六月二十一日（土）青山学院初等部で開催されました。今けられ、子どもたちの生徒として「弱いもの」として「弱いもの」をになう」と題して、手紙15章1~7節を読みました。子どもたちは、活空間としては「これは楽しいかもしれない」と思えるもので、金体のデザインや参加意識されていました。

（横須賀学院宗教主任）
うリスト教学校教育同盟の歴史の中でも記念すべきエキシマカルな会となりました。
青山学院初等部は、二〇〇三年から二〇〇七年夏まで校舎の全面建替えを行いました。樹齢を重ねた大木がアスノキやケヤキが作る木陰の下を裸光がいっそう祈りの小学校へと呼びかけに応じた九校による研鑽を重ねていくことを求めたい。
（横須賀学院宗教主任）
長畑俊道
「小学校 カトリックか」とは「一七校の参加があつた」ことである。

りつを改めて感じさせられたのである。加者は初学者にして、その子どもたるにいふべきである。本年度は、研修会と講演会を九月と十月に定期的に行なうに」の大合併として予定し、七月と十一月にカウ・ウン・ヤン・シングの前身の復興に尽力した山米吉氏の名を冠して、同校は「山米記念小学校」と改称された。今後は、西地区の研究会と連携をとり、全国の二つに分かれている語彙について支援していく所存である。

（つづけ）
りやすい言葉で語られる（1）の計
（体育）二十の授業
先生のお言葉は、しかし非常に力強く「私たちを公開して、がんばるが充分あります。弱者を排する柔軟な社会ではなく、弱い者のした。通常、学校を弱さを抱いて、やさしさをもってお互いを愛するの修習会で、成績した社会の形成を目指す（部会）」
